

令和 4年度予算見積調書

課室名：スポーツ振興課
 担当名：競技スポーツ担当
 内線：6955

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B44	スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民スポーツ振興費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	スポーツ基本法第6条、第7条、第11条、第34条 埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 3
	分野施策						0804	スポーツの振興	SDGsターゲット 3-4
1 事業概要			5 事業説明						
<p>東京2020大会のレガシーとして次世代を担うトップアスリートの輩出を目指し、スポーツ科学の知見を活用できる各年代に応じたサポート体制を整備する。 また、本県ゆかりのアスリートの就職を支援することにより、競技活動に専念できる環境を整備する。</p> <p>(1) 次世代を担うアスリート発掘・育成 31,809千円 (2) 埼玉アスリート就職支援 1,059千円</p>			<p>(1) 事業内容 ア 次世代を担うアスリート発掘・育成 31,809千円 イ 埼玉アスリート就職支援 1,059千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 次世代を担うアスリート発掘・育成 (ア) アスリートの発掘 小学5年～中学3年の各学年から運動能力に優れた児童・生徒を発掘 (イ) アスリートの育成 発掘した児童・生徒やトップアスリートに対して、発達段階に応じた育成プログラムや競技体験プログラム、専門的な競技プログラム等を実施、身体能力測定による分析・評価と専門スタッフによる指導・助言 (ウ) スポーツ科学を活用した指導方法の普及 指導者の養成や指導方法を競技団体等へ普及 (エ) 埼玉アスリート就職支援 県内で競技継続を希望するアスリートとアスリートの雇用・支援を検討する企業とのマッチングに向けた無料職業紹介所の運営</p> <p>(3) 事業効果 ア スポーツ科学の知見を活用することで、本県選手の競技力が向上する。 イ ジュニア期からの一貫した指導体制の構築とスポーツ科学の知見を活用した指導方法の普及を行う。 ウ アスリートが競技活動に専念できる環境整備により、更なる競技力向上に資する。 エ スポーツ科学拠点施設の効果的・効率的な活用に向けたノウハウを蓄積する。 オ 目標 国民体育大会 3位 カ 東京2020大会では、埼玉県ゆかりの選手86名が日本代表として出場し、そのうち14名がこれまで埼玉県で強化指定選手として支援を受けた選手であった。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	32,868						32,868	△6,030	
前年額	38,898						38,898		